

事業の実施状況について

北陸地方整備局千曲川河川事務所

大町ダム等再編事業 令和4年度の主な実施内容

<管理施設等の設計>

- (1)ダムコン設備等
- (2)電気通信設備(電源設備、CCTV等)

<環境・水理水文等調査>

- (1)水理水文調査(水質・濁度)等
- (2)環境調査(生態系)

<土砂対策設備関係の設計>

- (1)土砂輸送用トンネル(約11km)
- (2)輸送設備(約11km)
- (3)不動沢土砂分級設備
- (4)箆川土砂仮置き施設

<用地取得>

- (1)土砂対策設備に係る用地取得

<ダム運用計画検討>

- (1)3ダム連携の運用検討

<土砂対策設備工事>

- (1)土砂輸送用トンネル(約11km)
- R5年度に延期(土砂搬出先確保の検討)

管理施設等の設計

大町ダム・七倉ダム・高瀬ダムで洪水時操作を連携して実施するために必要となる管理施設は以下の通り。

※赤字：再編事業として新規に整備が必要な項目と対応案、黄色網掛け：R4年度実施項目

構成	施設等	既設	新設	備考
観測計測設備	水位、雨量、雪量、気象、 堤体観測設備	○		
放流警報設備	警報局、警報車	○		
通信設備	無線LAN、光伝送装置、 構内電話装置		○	
操作設備	ダム放流制御処理設備(ダムコン)、 遠隔監視装置		○	
電源設備	受変電・配電設備、予備電源設備、 無停電電源設備、配線、照明設備	○	○	【改造】受変電設備 【増設】燃料タンク 【新設】無停電電源設備
建物	管理所(七倉ダム、高瀬ダム)、 車庫、艇庫	○		
ダム貯水池 附属設備	流木処理施設、繫船設備、管理用道路、通 廊、船舶、堤内排水設備、CCTV設備	○	○	【新設】CCTV設備
貯水池管理設備	土砂対策設備		○	不動沢土砂分級設備 土砂輸送用トンネル 箆川土砂仮置き施設
河川区域指定	七倉ダム、高瀬ダム貯水池他		○	

ダム放流制御処理設備（ダムコン）、遠隔監視装置

七倉ダム・高瀬ダムで洪水時のダム操作を実施するために必要となる機器(ダムコン)・監視装置の配置を検討【完了】

■高瀬ダム



東京電力RP（株）ホームページより

■七倉ダム



東京電力RP（株）ホームページより

高瀬ダム管理所全景



七倉ダム管理所全景

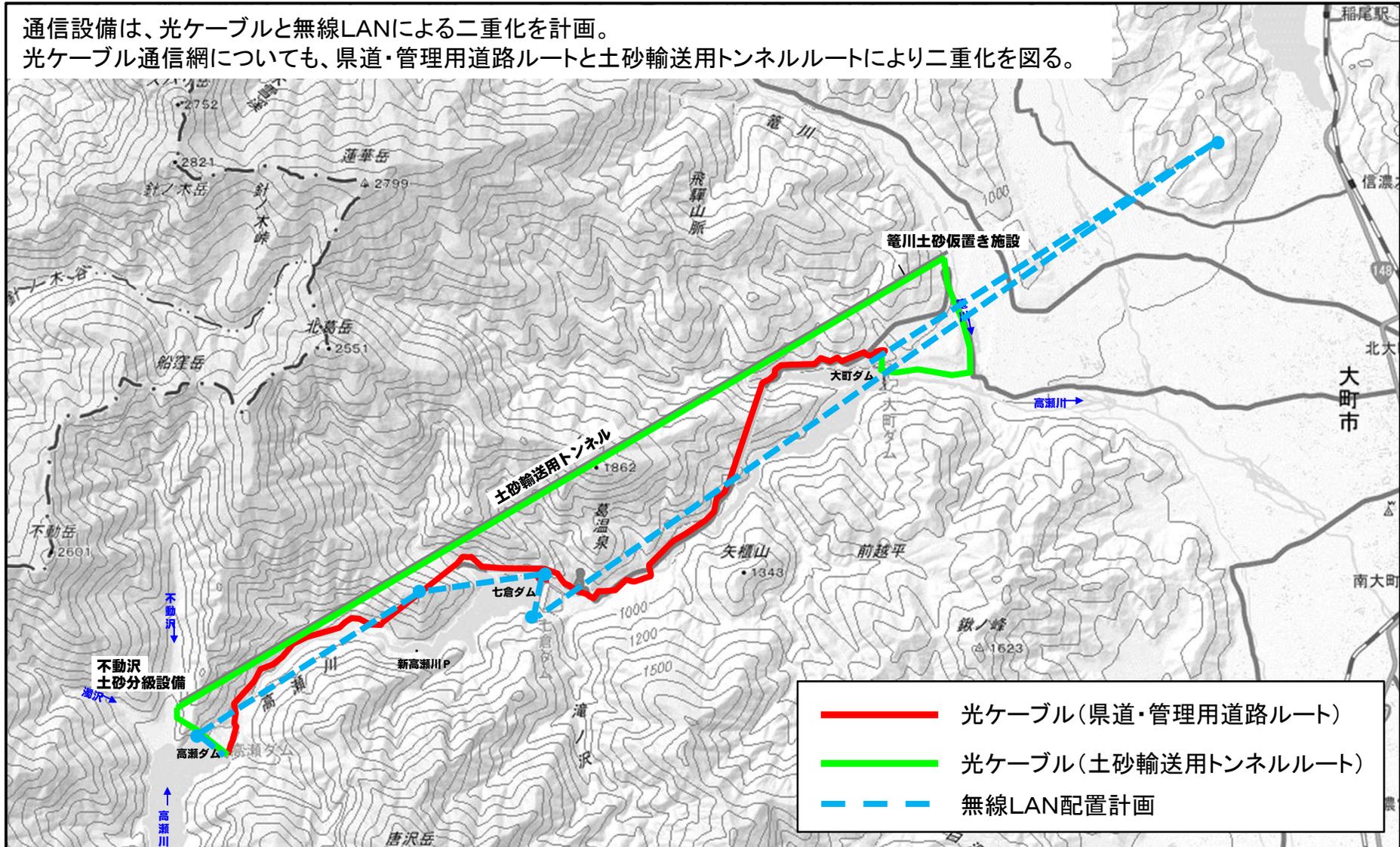


通信設備（無線LAN, 光伝送装置）

大町ダム・七倉ダム・高瀬ダムで洪水時操作を連携して実施するために必要となる情報(CCTV画像等)を伝送するための通信設備計画を検討【完了】

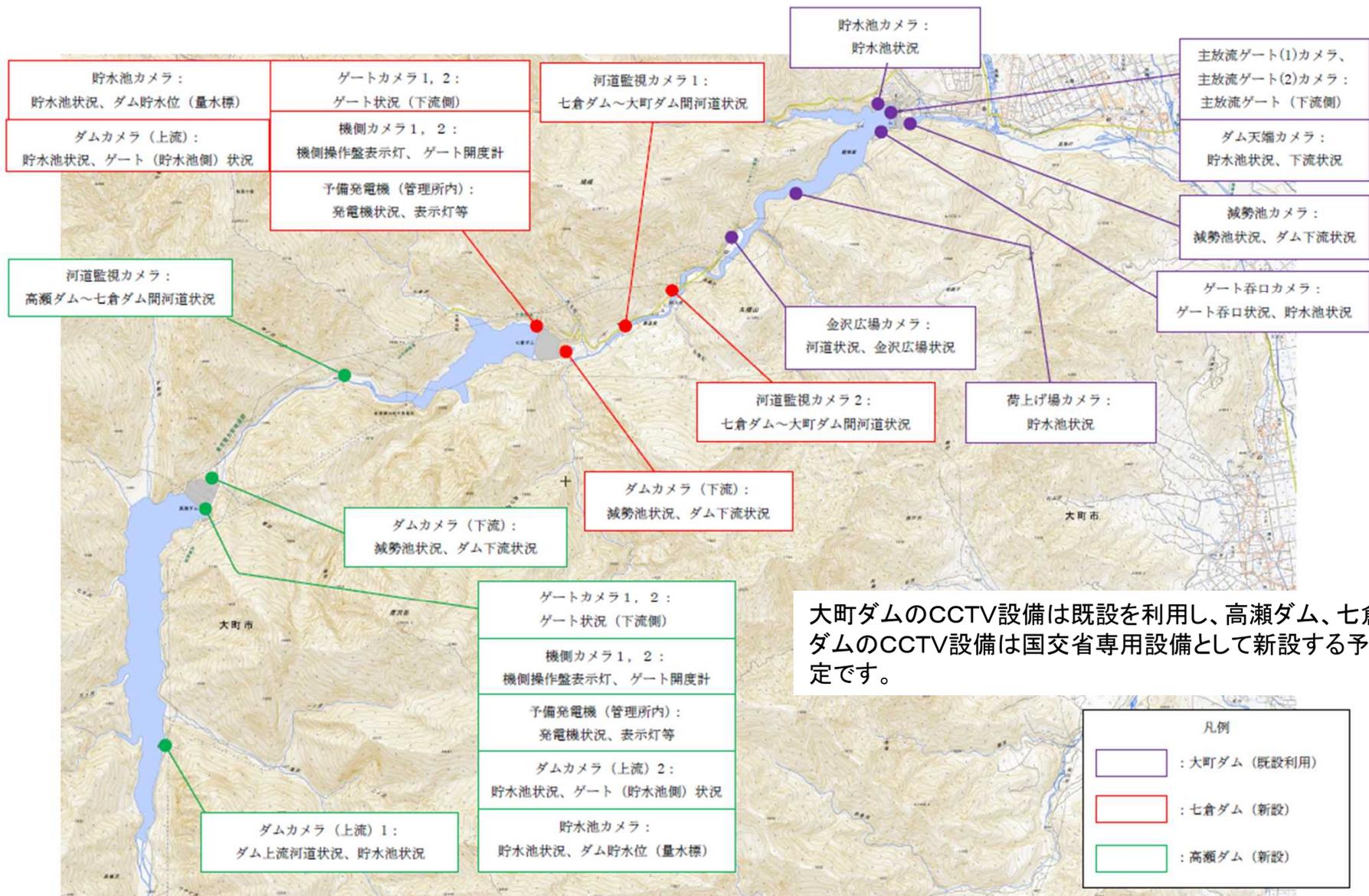
通信設備は、光ケーブルと無線LANによる二重化を計画。

光ケーブル通信網についても、県道・管理用道路ルートと土砂輸送用トンネルルートにより二重化を図る。



ダム貯水池付属設備（CCTV設備）

国交省として洪水調節を実施するための監視カメラの配置計画を検討【完了】



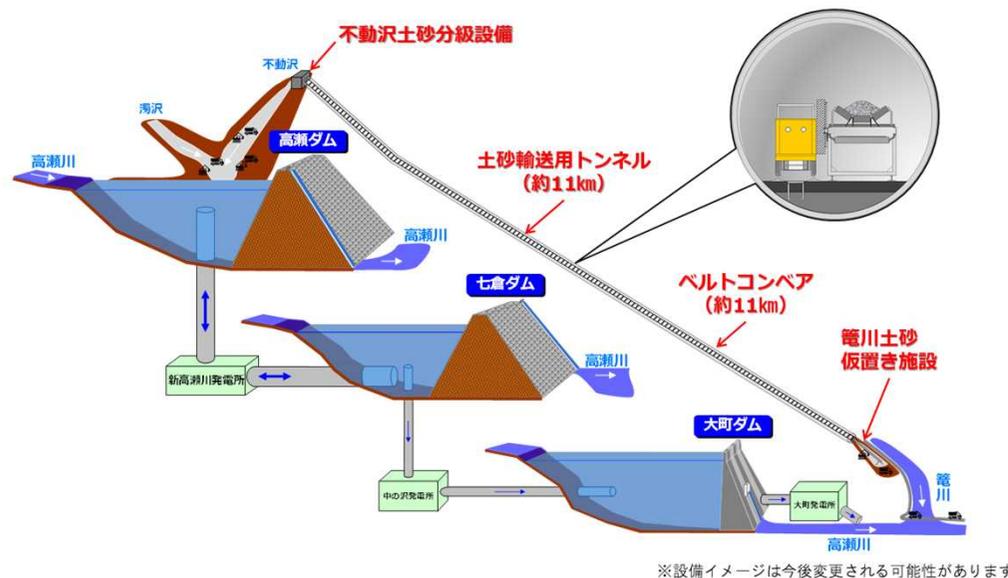
土砂対策設備設計

<土砂対策設備設計>

- (1) 土砂輸送用トンネル(約11km)・・・詳細設計を実施。【継続】
- (2) 輸送設備(約11km)・・・詳細設計を実施。【継続】
- (3) 不動沢土砂分級設備・・・基本事項の検討、施設配置計画の検討を実施。【継続】
- (4) 籠川土砂仮置き施設・・・基本事項の検討、施設配置計画の検討を実施。【継続】

大町ダム等再編事業 土砂対策イメージ図

土砂輸送用トンネル・輸送設備



土砂対策設備工事

<土砂輸送用トンネル工事>

工事において掘削時に生じる土砂の搬出先の確保について新たな調整が必要となったため、工事着手を延期。現在、周辺の公共事業の盛土材として活用することで関係機関と調整中。

環境・水理水文等調査

■ 水理水文調査

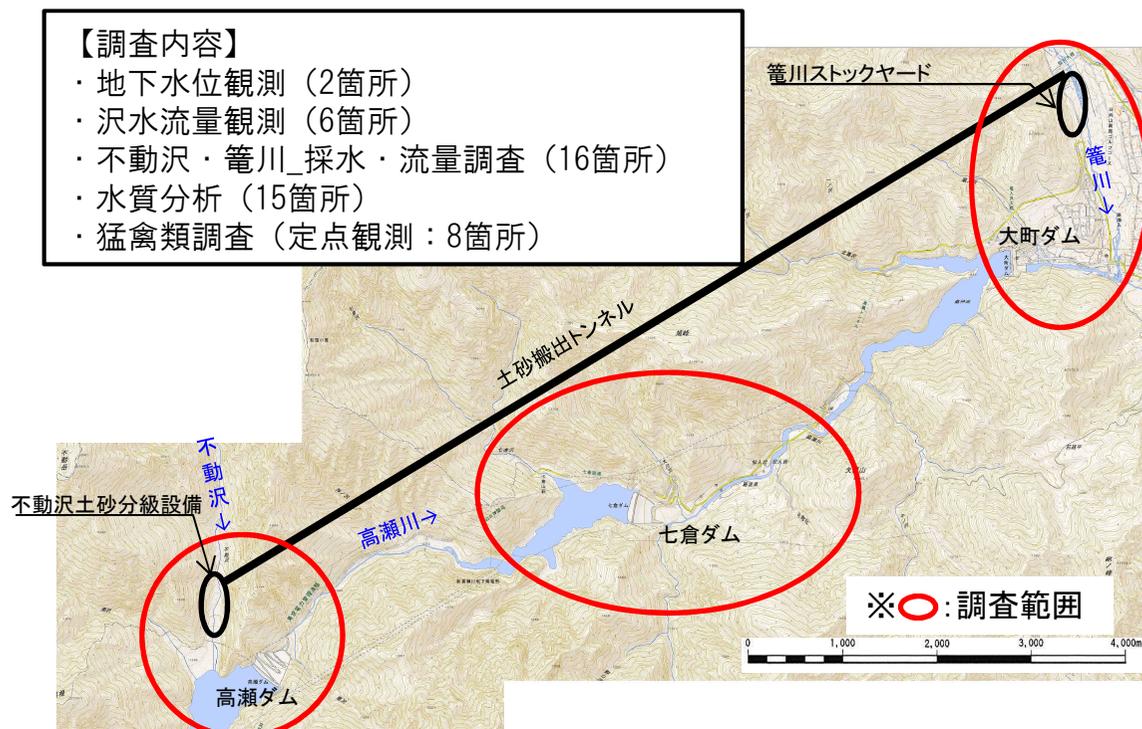
- ・土砂輸送用トンネルによる地下水等への影響を把握することを目的としてH28から水文調査を実施。【継続】
調査項目：地下水位観測、流量観測（沢水）、採水・水質分析（水利用、温泉を対象）

■ 環境調査（生態系）

- 再編事業における猛禽類への影響及び対策について検討するために、H27から高瀬ダム周辺を対象に猛禽類調査を実施。【継続】

【調査内容】

- ・地下水位観測（2箇所）
- ・沢水流量観測（6箇所）
- ・不動沢・籠川_採水・流量調査（16箇所）
- ・水質分析（15箇所）
- ・猛禽類調査（定点観測：8箇所）



採水・水質分析調査



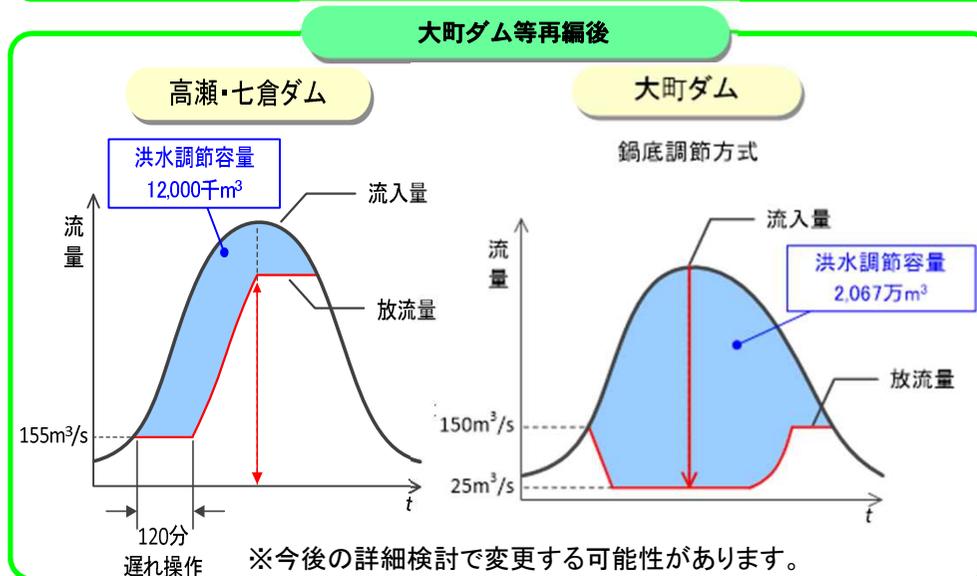
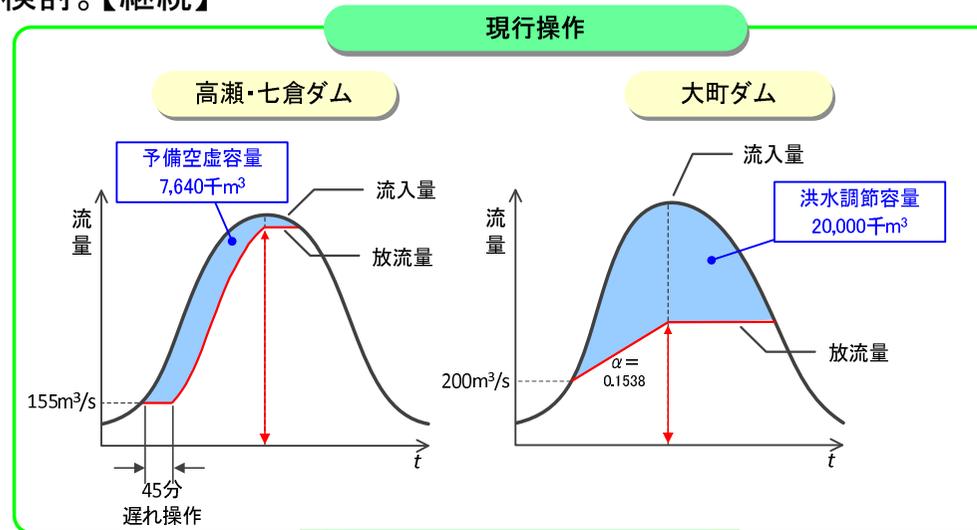
環境調査（生態系）

用地取得等

- 籠川土砂仮置き施設の用地取得を推進。【継続】

ダム運用計画検討

○高瀬ダム・七倉ダム・大町ダムで洪水時操作を連携して実施し、洪水中にダム下流で最大の水位低減効果を発揮するための運用を検討。【継続】



○令和4年9月より国土交通省と東京電力リニューアブルパワー(株)との間で、早期の治水効果が発現可能な洪水調節操作の実施条件が整ったため、新たな操作運用を開始しました。

大町ダム等再編事業 令和5年度の実施予定

<土砂対策設備関係の設計>

- (1) 輸送設備(約11km)修正設計
- (2) 不動沢土砂分級設備 詳細設計
- (3) 籠川土砂仮置き施設 詳細設計

<環境・水理水文等調査>

- (1) 水理水文調査(水質・濁度)等
- (2) 環境調査(生態系)

<土砂対策設備工事>

- (1) 土砂輸送用トンネル(約11km)
- ※R5第4四半期契約予定

<ダム運用計画等検討>

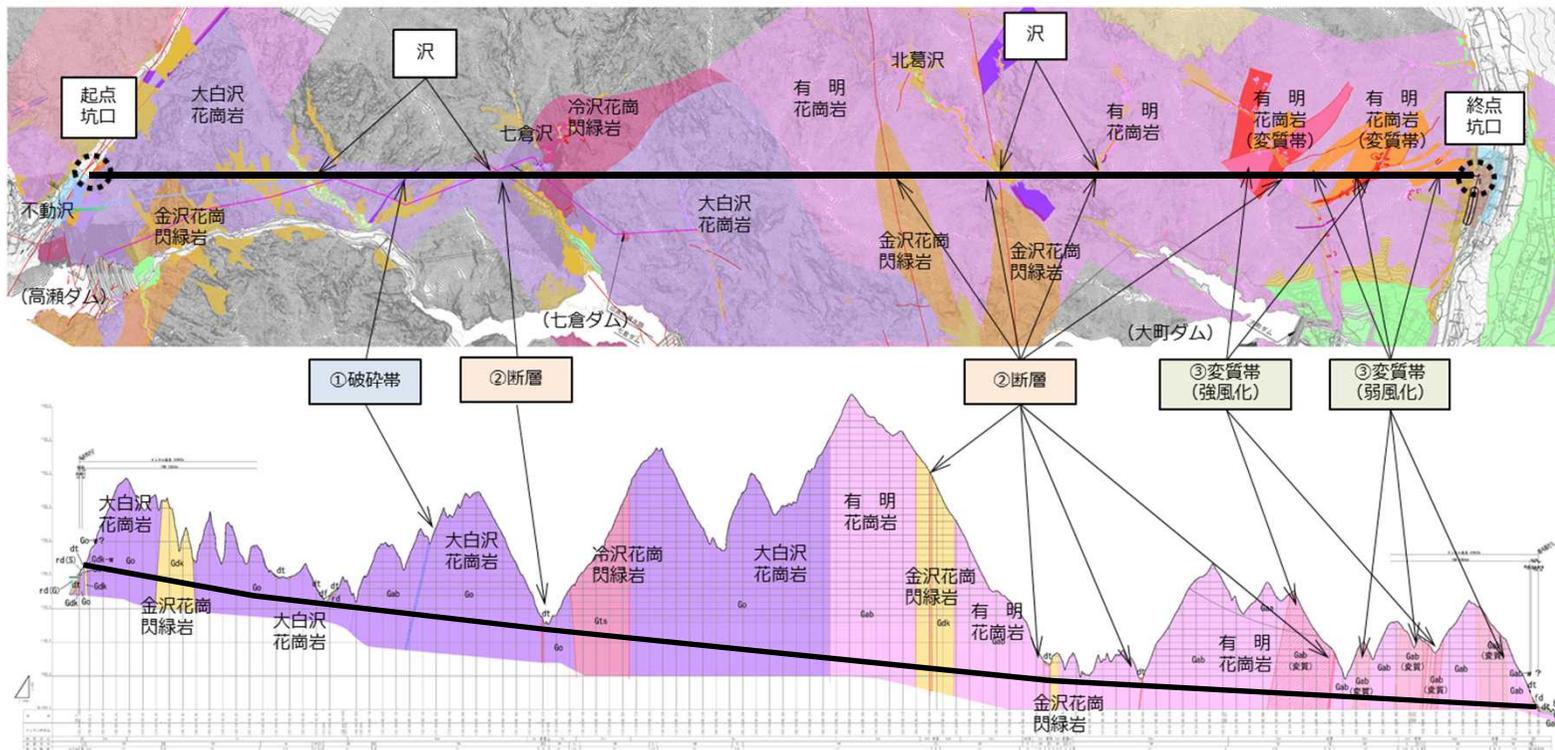
- (1) 3ダム連携の運用検討 等

<洪水調節関係工事>

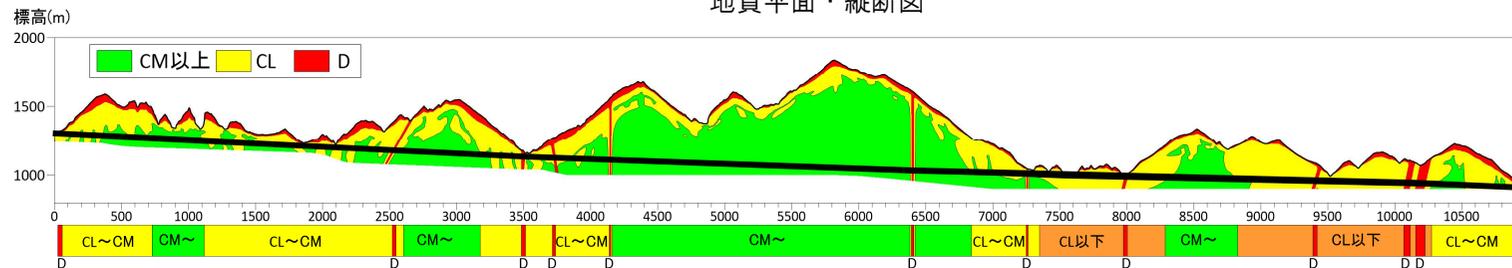
- (1) ダムコン製作
- (2) 電気通信設備(電源設備、CCTV等)

土砂対策設備工事（土砂輸送用トンネル）

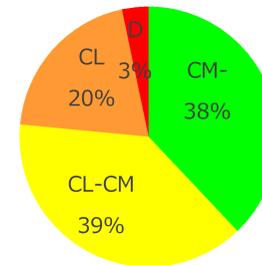
令和5年度第4四半期契約予定。R6年度より工事着手



地質平面・縦断図

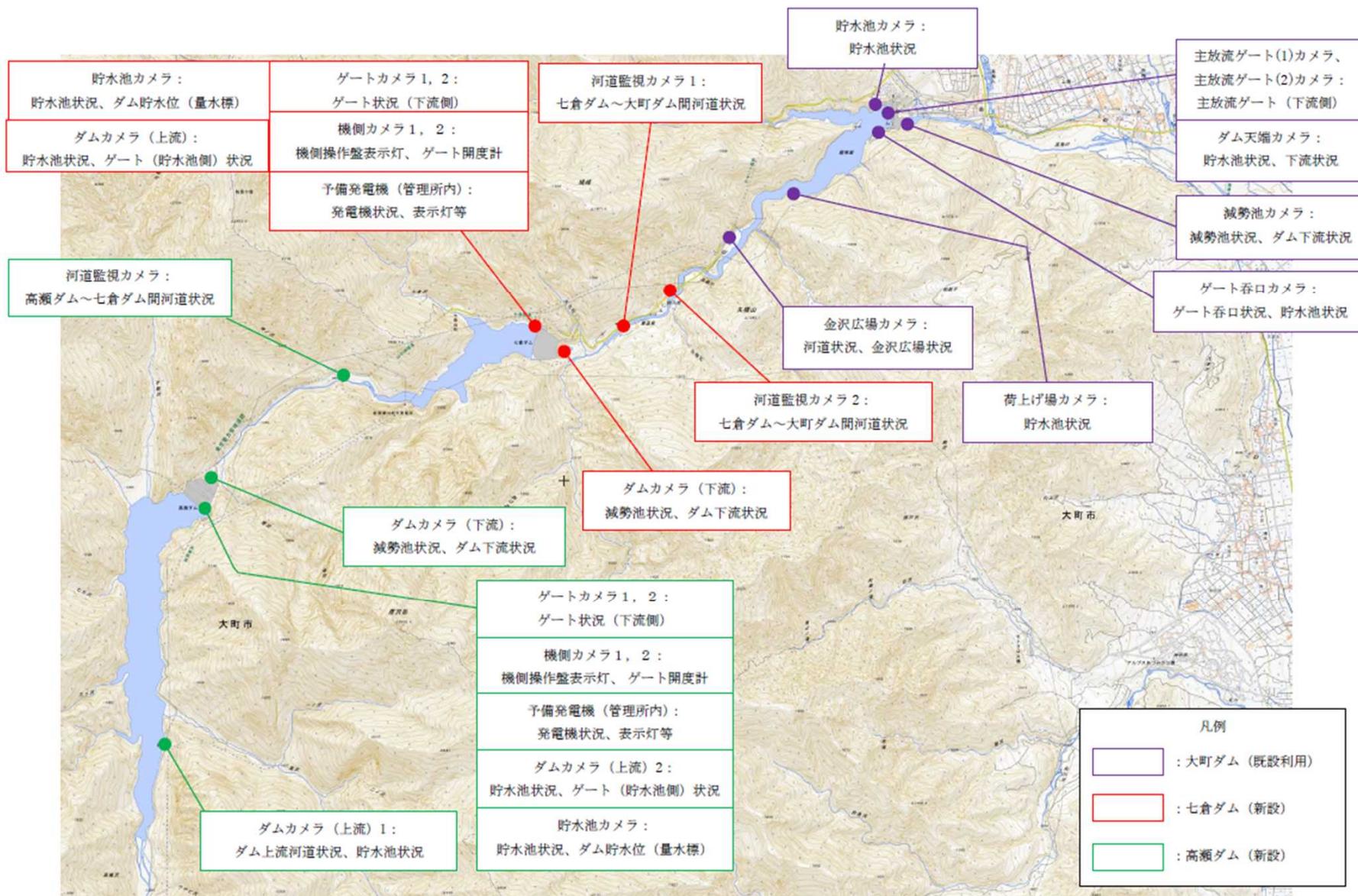


空中電磁探査による岩級区分図



ダム貯水池付属設備（CCTV設備）

国交省として洪水調節を実施するための監視カメラを全20台のうち、8台を購入予定



今後の事業実施における主な課題

○事業の実施における主な課題は以下の通り。

- 地質調査結果を踏まえた土砂対策設備の設計・施工計画検討
(土砂輸送用トンネル、不動沢土砂分級設備、
籠川土砂仮置き施設、輸送設備)
- 環境調査結果を踏まえた土砂対策設備の設計・施工計画の検討
(土砂輸送用トンネル、不動沢土砂分級設備)
- 物価変動への対応

○引き続き事業費及び工程管理に取り組んでいく。